

# 環境コミュニケーション

環境情報を積極的に開示し、環境保全の取り組みを理解いただき、ステークホルダーと協働して地球環境を守っていきます。

## サイトレポートの発行

2006年度は甲府カシオ、カシオマイクロニクス、カシオ日立モバイルコミュニケーションズ、山形カシオおよび高知カシオがサイトレポートを発行しました。(2005年度は3拠点でした)

このように発行する拠点数が年々増加する背景には、近隣住民の方やお取引先に対して環境情報の開示を積極的に行うことで、カシオが取り組んでいる環境への姿勢を理解していただきたいという思いがあります。



## 各工業会の環境関連委員会への参画

カシオは、自社の環境経営の範ちゅうに留まらず、産業界を代表する工業会とその傘下の環境関連委員会や部会に積極的に参画しております。

以下代表的な工業会と各委員会への参画状況を報告いたします。

- ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)
  - ・ 環境委員会
  - ・ 環境関連小委員会 (5小委員会)
  - ・ 部会、検討会、研究会
- 電子情報技術産業協会 (JEITA)
  - ・ 環境推進委員会
  - ・ グリーン調達調査共通化協議会
  - ・ ディスプレイデバイス部会傘下の環境安全委員会及び各WG

- 日本機械輸出組合 (JMC)
  - ・ 貿易関連環境対策委員会
  - ・ 環境関連専門委員会 (2専門委員会)
- カメラ映像機器工業会 (CIPA)
  - ・ 環境作業部会
- 日本時計協会 (JCWA)
  - ・ 環境委員会

カシオは、環境に関わる業界の自主的な取り組みや国内外の環境関連法律に対する意見表明或いは法律の要求事項に対する製品やサービスへの適応など同業他社と協働して情報発信に努めています。

そして、これらの成果はカシオのグリーン商品開発や環境パフォーマンス目標設定或いは環境関連の社内規準等へ反映しております。

## 環境マネジメントシステム (EMS)

カシオでは、カシオグループ全体の環境経営を統轄する環境保全委員会と生産拠点、事業所毎に導入を行っているISO 14001を両輪として環境マネジメントシステム (EMS)を運営しています。

今後は、EMSの範囲を2009年度を目標として、これまで未取得となっていた国内営業所、サービス拠点、国内／海外の販社に順次広げていく計画を進めています。

カシオグループ全体にEMSを導入することで、環境経営の範囲を拡大し、環境経営施策の確実な実行と、各国、各地域に環境情報を発信するグローバルな環境コミュニケーションの拡充を図っていきます。

### ● 他企業との企画・調査・研究の提携

#### (アライアンス)～甲府カシオの例

甲府カシオでは、委託している廃棄物処理業者の苦勞を聞き、ハンバーガーチェーンの調味料容器の分離装置の開発、設計、製造を行いました。その結果、分離したアルミは素材にリサイクルされ、樹脂は住宅資材になりました。4社の協力によりリサイクルの輪が出来ました。【甲府カシオ サイトレポートより紹介】



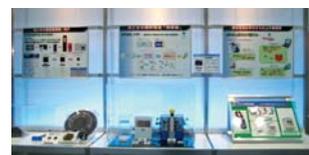
調味料容器の分離装置

## 国内・海外の展示会への出展

### エコプロダクツ2006に出展

#### 出展コンセプト：『小型・軽量・薄型・省電力』

2006年12月の「エコプロダクツ2006」では、カシオのコアコンピタンスである「小型・軽量・薄型・省電力」技術を生かし、環境に配慮した製品「カシオグリーン商品」の展示を中心に、カシオグループ全体の環境に対する取り組みを、ステージ上での説明も交えてわかりやすく紹介しました。



#### 電卓の歩み

カシオが50年間省エネ化を進めてきた技術の歴史を見て体験できるコーナーとして電卓の歩みを展示しました。

#### 電卓の組立体験

今回も子供たちに電卓の組立体験を通じてモノづくりの楽しさを体験していただきました。



この体験はカシオの国内グループ拠点が行っているCSR活動の一部をカシオブース内のステージで再現したものです。

1日2回(午前・午後) 3日間実施しました。

※一万人の工場見学については59ページを参照ください。



カシオは、エコプロダクツ展開初回より出展を行っています(8回目)。毎年、着実に来場者数が伸び、今では、国内でも有数のビッグな展示会に成りました。これからも環境センターと共同で環境活動を皆様にお伝えしてまいります。



カシオコミュニケーションプレイング  
横森 弘美



エコプロダクツ2006カシオブース(写真)

### CES2007(コンシューマー・エレクトロニクス・ショー)に出展

2007年1月ラスベガスで行われたCES2007に、カシオは、米国で初の環境展示を行い、カシオ製品のどの部品が、どのように環境に配慮されているかを示した「分解展示」などが、ユニークさで人目を引きました。

また、会場のブース内で行ったプレス発表においても、Kids' ISO 14000プログラムの協賛を含む環境への取り組みをアピールし、大変注目されました。



※Kids' ISO 14000プログラムについては21ページを参照ください。

日本や欧州に比べるとアメリカはまだ環境保全に対する国民の意識が低いと感じますが、そんな今こそ、企業として環境保全への取り組みを積極的に伝えることがとても重要だと思っております。今回のCESでの展示を通じ、省資源、省電力を中心としたカシオの環境活動の取り組みを、効率的に理解していただけたと感じています。



カシオインク  
浜島 弘文

これからもアメリカにおいてカシオの環境活動を積極的に紹介してまいります。